



特定非営利活動法人

チャレンジ企業支援隊 会報

Global Management Supporting Partners (GMS)

会報V o l . 12

平成23年1月25日

発行：理事長 山崎健一郎

TEL & FAX 0742-41-7839

編集（広報担当）：副理事長 馬場英彦

TEL & FAX 0743-75-1685

E-Mail bamba@m4.kcn.ne.jp

巻頭言

（理事長 山崎健一郎）



昨年中に皆様方から賜りましたご支援とご協力に対し、厚く御礼申し上げます。年末の挨拶回りと年頭の賀詞交換会に出席

して、チャレンジ企業支援隊（GMS）に対する期待の大きさに、身の引き締まる思いがしました。

平成23年がどんな年になるのか。1月1日の各新聞の社説を読む為に、駅の売店まで新聞を買いに出かけました。概ね、次の様な論調で危機感を訴えていました。『このままでは、日本は衰退（沈没）してしまう。日本にはよき伝統と底力があり、日本人はもっと自信を持って良い。解決すべき課題は明確になっている。今年は大きな転換期である。与野党協力（妥協）して、思い切った改革を進める必要がある。』

GMSの活動は如何にすべきか。GMSには『運営理念』が定められています。混迷の時こそ、会員がこの理念を共有し、日本の元気回復の為、微力ながらお役に立てる様尽力して行きたいと思えます。

<運営理念> 社会貢献を基本精神とし、人的なネットワークと連携を大切にしながら、会員の経験・知識・専門技術を活かし、中小企業やベンチャー企業等の支援を通じて、経済社会の活性化と地域社会の健全な発展に寄与する事を目指す。

今年も引き続き、ご支援とご鞭撻をお願いして、年頭のご挨拶とさせていただきます。

KIAC事業への参画について

（理事・特別顧問 成田欽史郎）

関西産業活性協議会（KIAC）任意団体として助走の後、平成22年9月27日の総会を経て一般社団法人としてスタートした。

関西産業活性協議会の母体は、近畿経済産業局が

平成16年9月から5年間にわたり実施した販路マッチングナビゲート事業に参加したNPO法人、組合法人6団体である。

平成21年3月に販路マッチング事業の終了に伴いこの6団体その後毎月連絡会を開催し協議の結果、産業支援型各団体の貴重なネットワークを生かし、社会的に信頼される幅広い活動を通して産業支援の実を上げることを目指し『一般社団法人関西産業活性協議会』を設立することとなったものである。

理事長には阪南大学前学長の大槻眞一氏（現阪南大学名誉教授）に就任いただき、また近畿経済産業局総務企画部総務課長の須山稔氏、創業経営支援課長の玉野直毅氏にはアドバイザーとしてご指導いただくことになった。チャレンジ企業支援隊からは山崎理事長と成田特別顧問が理事として加わり、山崎



理事は教育広報担当幹事、成田理事は企画推進担当幹

KIACの理事・役員 事としてKIAC

の運営にかかわっている。今期の主たる事業は以下の6事業である。

- ①ビジネスマッチング事業 ②キャリア教育事業、
- ③海外展開支援事業 ④専門家紹介事業
- ⑤応援センター連携支援事業
- ⑥オープンイノベーション事業

ビジネスマッチング事業では、神戸市産業振興財団の川上川下マッチング事業で、KIACから16名のジョイントアドバイザーを登録、毎月プレゼン会が開催されマッチング活動を推進している。また11月に中小企業基盤整備機構近畿支部との連携で、新連携認定事業者対象のビジネスマッチングに取り組み、

GMS からも3名が参加した。

また近畿経済産業局から海外展開支援事業とオープンイノベーションの調査についての公募があり、KIACとして調査事業に応募、両事業を受託した。アンケートやヒアリング調査を実施中で、GMSからも4名がこれらの事業に参加している。

専門家紹介事業については、大阪府中小企業家同友会や、兵庫、奈良、滋賀の同友会と連携し、同友会加入中小企業のみなさんの経営課題について、必要に応じて専門家を紹介する事業もスタートしている。今後さまざまな活動の場が広がってゆくと思われる。KIACの事業に対して、GMS会員の積極的な参画を期待している。

モノづくり部会の活動報告

(理事 モノづくり部会長 中村 顕)

(1) 第18回GMS経営勉強交流塾の開催

平成22年12月2日に松心会館にて、出席者15名のもとで開催した。

2008年9月に発生したリーマンショック以来、依然として続く景気の低迷状態は特に中小企業にとっては受注確保の上で厳しいものがある。そこで、今回は「受注拡大の解決策、得意技融合に学ぶ事業展開」をメインテーマに設定し、SUN共同体事業機構の濱口守男会長にその取り組みを紹介頂いた。

商品の高度化に伴い、1社ではなかなか受注が難しい中、SUN共同体事業機構で



交流会も貴重な情報交換の場

が得意技(専門技術)を有する異業種企業(1業種1社)がグループ(20社の融合ネットワーク)を組み、顧客の様々な要望(国内海外事業含め、商品企画開発、設計、試作、製造、産学連携等)に対応する事業を展開され、受注拡大に成功されている。その成功事例や失敗事例など多くの事例を紹介頂いた後、Q&Aを含め、活発な意見交換が行われ、「共同体による受注の方式が参考になった」「新技術開発の

ときにはSUNに是非相談したい」という意見なども出て、双方にとって有意義な会となった。

また、その後の懇親交流会では、懇親とともに会議では十分聞けなかった事、言えなかった事等についての相互交流が、和やかな雰囲気の中で行われた。

(2) 「第28回亀岡地区

グループ活動事例発表大会」で記念講演

昨年12月8日に、亀岡地区グループ活動推進委員会(商工会議所)主催の標記大会が開催された。亀岡地区にある約30社が改善活動の推進向上を図るために、毎年優れた改善活動と認定された企業(3~4社)がグループ活動の成果を発表。亀岡副市長や京都府農林商工部長も出席。今後の改善活動に少しでも役に立てばと思い「製造力強化と現場改善」というテーマで、講演をさせて頂いた。

マーケティング部会の活動報告

(理事 マーケティング副部会長 辻谷禎弘)

マーケティング部会は、昨年1月7日(木)大阪デザイン教育研究所様の会議室を借用して、本年初の月例会を開催(第64回目)。馬場部会長のリーダーシップのもと、毎月例会を開き、6~15名の参加者が様々な意見交換を行ってきた。殊に本年は、新規入会された企業OBの会員の参加が増え、豊富な経験に裏打ちされた見識ある意見が多く聞かれ部会は大いに盛り上がった。

(1) 討議された主なテーマの紹介

- ①「遷都1300年祭、発信!NPOフェスタ」協力展示テーマについて(4月~7月)
- ②(株)シーズクリエイトの宮城社長様より、印刷事業の課題と将来展開について(6月)
続けて、「私鉄沿線某百貨店への企画」の課題が出され、GMSの提案がお役に立った。
- ③(有)異繊維工業所異社長様より、靴下製造販売

事業の現況と新商品構想をご教示頂いた。



部会での討議の様子(2010年11月)

(2) 企画デザイン的具体化した案件の紹介

①けいはんなまちづくり協議会（SLC）様：

HP企画デザイン <http://sle.keihanna.mobi/>

②森庄銘木産業（株）様：HP及び営業カタログ

企画デザイン <http://www.morisho-meiboku.co.jp>

③（株）芳岡様：よしおか三輪手延べそうめんポスター、包装紙、シール、葉デザイン

<森庄銘木様、芳岡様は、宇陀商工会様にご紹介いただき推進した案件である。>

HRM部会の活動報告

（理事 HRM部会長 中尾都史子）

HRM部会の中心的な活動である追手門学院大学様の「キャリアデザイン論」が昨年9月21日にスタートし、1月27日で終了する。大きなトラブルはなく順調に

講義が進捗したのも、事前の入念な打ち合わせと準備の



賜物である。 **キャリアデザイン論の授業風景**

今年度は新たに「中小企業向け推奨研修メニュー」の一覧を作成した。これは、HRM部会のメンバーが中小企業向けに提供できる研修や講座をまとめたものである。この一覧や各研修・講座の詳細な内容は、GMSのホームページに掲載し、皆さんに紹介する予定である。

前号でもご報告しましたが、平成22年度からHRM定例部会をスタートした。12月22日には、今年度の反省と来年に向けての意見交換と懇親会を開催し、平成23年もメンバーが一丸となって取り組んでいく決意をした。今後は、中小企業向けの研修や講座のご提案、大学生向けのインターンシップ、キャリア教育を柱に、さらに新たな取り組みを模索しながら活動していく所存である。

まちづくり協議会の活動報告

（相談役 安田正一郎）

けいはんなまちづくり協議会（正式名：けいはんな学研都市精華地区まちづくり協議会、略称：SLE）

の事務局を引き受けて1年半、精華町、(財)関西文化学術研究都市推進機構の皆様のご支援、ご協力をいただき内容も充実してきた。

特に本年下期よりまちづくり協議会が率先して推進中の『世界一の日時計広場で北極星に向けてレーザービーム永続照射』にむけ、レーザービーム復活プロジェクトチームをスタートした。現在の学研都市が持つ可能性を集約し、更なる発展を遂げるための契機として、学研都市の未来の象徴であったレーザービームを復活させたいとの思いからまちづくり協議会が提唱した。日時計の所有者である（株）けいはんな様にも前向きな意見をいただき、けいはんな地域の関係団体に働きかけたものである。学研都市精華・西木津地区には光台、精華台、木津川台と3地区が存在するがそれぞれの結びつきはこれまであまり無く、各団体がこのプロジェクトに参加することで住民と企業、関係団体との交流の場となり、地域全体の結びつきが強くなりつつある。このプロジェクトはすでに京都府地域力再生プロジェクト支援事業の認可も受けており平成23年11月のレーザービームの

永続照射除幕式に向けプロジェクト活動中である。又昨年11月25日、まちづくり協議会



世界一の日時計

の先輩格である津田サイエンス・ヒルズより十数社が、「精華地区まちづくり協議会」にこられ交流を深めた。その後、まちづくり協議会の企業2社を見学頂いた。

働きがい支援事業について

（理事 事務局長 南部英治）

障害者の自立をめざした、22年度の障害者働きがい支援事業も、終盤に近づいた。この事業は、平成19年度から取り組んでいる工賃倍増5カ年計画の一環で、NPO法人社会就労事業振興センターを通じて福祉事業所の『就労収入向上支援』を行っている。今年度の事業所支援は大きく下記の3点であった。

①新規事業の取り組みは、『高付加価値商品の開発製造をすることで作業者の技術力を磨き高収入を目指

す』を目標にカヌー・高級木製おもちゃ等の製造販売、喫茶店開店、お菓子・パンなどの製造・販売、事業移管などについて助言した。

②商品の生産能力改善と販売施策については、製造能力検討の仕方、改善方法又商品及びパッケージ



のデザイン、陳列の方法、チラシの作成方法、マナー研修などの支援をした。

熱心に講師の話に耳を傾ける

③内部管理手法については内部体制の拡充のため製造仕様書の作成、5Sの取り組み方、生産・販売・在庫の管理手法など事業所に必要と思われる項目について支援を行った。各事業所からは、外部の人から後押しされたことで事業の取り組み方向に自信が持てたとのコメントを頂いた。

「NPO法人設立支援セミナー」盛況裡に終了

(副理事長 マーケティング部会長 馬場 英彦)

平成22年度の「奈良県とNPOとの協働事業」に応募し選定を受けたセミナーは、昨年10月末に

大盛況の中で終了した。10月29日・30日に実施した若者を対象に「ソーシャルビジネスや起業」

に焦点を当てたセミナーは最終回ということもあって150名の参加者があった。



最終回は若者を中心に熱気が溢れる

参加者の声を拾うと「自分の抱えている問題点の棚卸しをして結果を出して行く道筋を考えられる様になった」「NPO法人の定義、ソーシャルビジネスの具体例がよく理解できた」「次回はNPO法人陥りやすい失敗、成功の秘訣を知りたい」更に、「NPOに参加してもらいたい人とNPOに参加したい人を出会わせる場が欲しい」その他多くのご意見ご感想を頂戴した。多くの皆様が、継続的にこのようなセミナーを希望されている事が実感できた。

GMSホームページのリニューアル

(マーケティング部会 副部会長 理事 辻谷禎弘)

GMSのホームページは、初期掲載から6年余を経過し、その間一度内容の改訂を行ってきた。しかし年々進化がスピードアップしているWebの世界にあって、従来のHPでは十分対応出来ないとの指摘もあり、新たにHP委員会を開催し課題を検討した。

初期立ち上げからご苦労された旧担当からの移管業務、更新制作担当会社への依頼、新サーバーとの契約、新頁の構成企画、頁内容・デザインの再検討・等、業務は複雑多岐にわたる。GMSのキャッチフレーズ・ロゴデザインを改訂し、併せて名刺デザインの基本フォームも一新した。新春雪解け時期までに全頁を完成させたい。制作途中のHPをぜひ一度ご覧頂き、ご感想ご意見を事務局へお寄せ下さい。

www.npo-gms.com

チャレンジ企業支援隊 平成22年の活動内容

- 1月 「GMS新春講演・交流会」開催
講師：(株)タニオカドレス
代表取締役社長 谷岡 一治氏
- 3月 「第16回GMS経営勉強交流塾」開催
講演：「成功するベンチャー 失敗するベンチャー」
- 5月 第8回総会開催
- 6月～「障害者働きがい支援事業」をNPO法人奈良県社会就労事業振興センターより受託
- 6月～「第17回GMS経営勉強交流塾」開催
交流塾5周年記念事業として中国視察
- 6月～「NPO法人設立支援セミナー」開催
奈良県くらし創造部協働推進課と共催
- 7月 奈良県主催 NPOフェスタでGMSの概要をパネル展示(平城遷都1300年祭会場)
- 9月 一般社団法人 関西産業活性協議会発足
会報11号発行
- 10月～「SLEマネジメントセミナー」開催
- 11月 GMSホームページ更新
- 12月 「第18回GMS経営勉強交流塾」開催
講演：「SUN共同体事業機構の事業内容及び成功事例紹介」
- 12月 「亀岡地区グループ活動発表大会」記念講演